

# ICTの提供による社会の持続可能性と生物多様性への貢献

## 税公金帳票自動認識システム

### 富士通グループのSDGsへの取り組み

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）は、先進国を含めた世界全体が2030年までに達成すべき共通の目標です。その目標達成に向けて、民間企業の技術やイノベーション力を積極的に役立てていくことが強く求められています。富士通グループは、かねてより、共創を通じて持続的に社会にインパクトを与える成果を生み出す、「ヒューマンセントリック・インテリジェント ソサエティ」の実現を目指して、テクノロジーを活用するとともに新たなイノベーションを創造してきました。この活動と、国際社会がSDGsの達成に向けて取り組む方向性は、一致していると認識しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/sdgs/>

### 持続可能な開発のための2030アジェンダ

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals : SDGs)を中核とする「持続可能な開発のための2030」は、平成27(2015)年9月25日に、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで採択されました。

### SDGs(Sustainable Development Goals)

2030年に向けて持続可能な開発に関する地球規模の優先課題などを明らかにした目標です。17の目標と169のターゲットで構成されています。ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals : MDGs）とは異なり、先進国を含む全ての国に適用される普遍性が最大の特徴です。

### 環境との関連

複雑に絡み合う社会・環境課題に対応していくためには、環境・経済・社会の3つの課題を総合的に取り組む必要があります。環境省では、17の目標のうち、気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会形成の取組等）等、少なくとも、12の目標が環境に関連しているとしています。

### ICTによるSDGsへの貢献

富士通グループは、クラウドシステム、モバイルコンピューティング、電子政府など、様々なICTの提供を通じて、国内外のお客様とともに、SDGsへ貢献してまいります。



### 「環境貢献ソリューション」認定制度のご紹介

富士通は、富士通グループが提供するソリューション・サービスの導入によるGHG排出量の削減効果を定量評価し、削減効果が15%を上回る商品やサービスを「環境貢献ソリューション」として認定してきました。現在もGHG排出量の削減効果を算定し毎年報告しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/sustainability-contribution-list/>



### 税公金帳票自動認識システム

- 税公金帳票自動認識システムは、認識エンジンパッケージに搭載された機能のひとつで、税公金納付書をOCR（光学文字認識技術）を使って事前定義なしで自動で解析する認識ソリューションです。従来、銀行営業店窓口で持ち込まれた税公金納付書の処理は、OCRによる読み取りと手入力で行っていましたが、また、OCRで認識するために、帳票レイアウトの定義作成の工程も発生していました。当ソリューションは、高度なAIを搭載したOCRにより全ての帳票に対して自動読み取りが可能になるため、手入力や定義作成が不要になります。結果として、行員の業務効率の向上につながります。今回、業務自動化による処理時間の短縮をCO<sub>2</sub>排出量として評価しました。

### 「環境貢献ソリューション」の提供により、SDGsへ貢献します。

- 「環境貢献ソリューション」の取り組みは、目標13：気候変動へのアクション（気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。）への対応として、推進しています。富士通グループは、「環境貢献ソリューション」の提供を拡大し、SDGsに貢献します。



## 税公金帳票自動認識システムによる業務効率化と環境負荷の低減

### システム概要

税公金帳票自動認識システムを導入することで、銀行営業店窓口を持ち込まれた税公金納付書のデータの入力作業を完全自動化し、業務効率化を実現します。従来、税公金納付書のうち流通量が多く、頻繁に改訂される帳票は事前定義又は再定義を、未定義の帳票は行員によるデータ入力を行っていました。当ソリューションは、全ての税公金納付書のフォーマットに対して、高度なAI技術を利用し定義なしで自動で帳票を解析、認識することが可能となりました。

これにより、フォーマットの定義作業や手入力の作業を自動化・省略することができ、納付書の処理時間が短縮され、業務負担の軽減が図れます。同時に、業務効率化によりコスト削減だけでなくエネルギー消費量の削減につながり、お客様の環境負荷の低減に貢献します。

### 効果

・ CO<sub>2</sub>排出量の削減効果：約32% ※富士通フロンテック試算

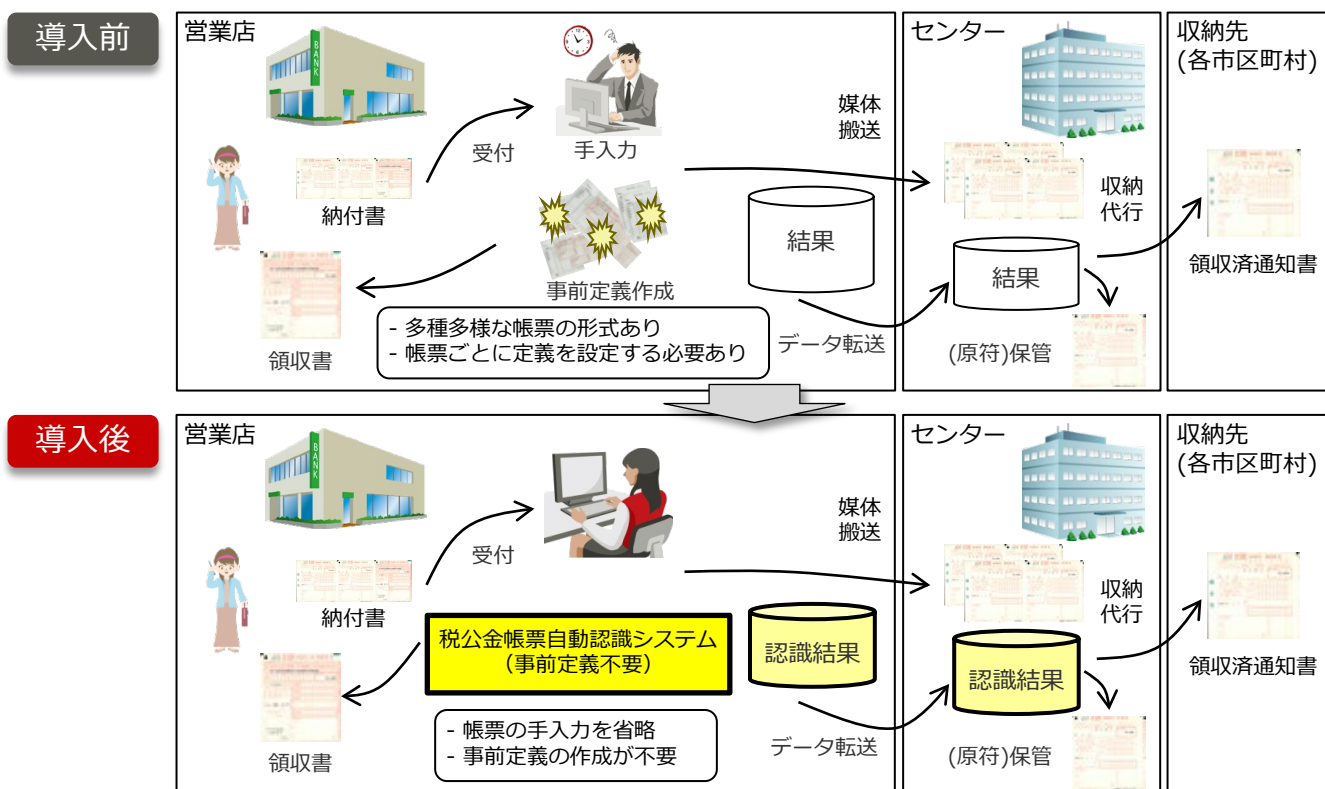
・ 税公金業務における帳票処理時間の短縮（営業店端末約2,000台、取引件数10万件／日を基準に試算）：  
 【導入前】約195千時間／年・・・納付書フォーマットの定義／再定義、行員のデータ入力の工程が発生  
 【導入後】約133千時間／年・・・高度AI技術により定義なしで全ての納付書を自動認識、処理  
 結果、約62千時間／年の削減効果

※上記の効果は、現時点で富士通フロンテックが試算したものであり、お客さまの運用状況などにより結果が異なることを予めご承知おきください。

### 税公金帳票自動認識システムの導入によって、何故、事務手続きがスピードアップするのか？

以下の時間が短縮されます。

- 従来行っていた、帳票の事前定義／再定義作業時間が不要となります。
- 未定義の帳票に対してもOCRでき、手入力の手間が省け、処理時間が大幅に短縮されます。



### お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社  
 ファイナンス&リテール事業本部 第三ソリューション事業部  
 Webによるお問い合わせ：<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/contact/>